

# 一般質問



処理されたスラグ置き場



六価クロム入り産廃処理、市民の税金  
2450万円投入  
角田 喜和 議員

**質問** スカイランドパーク周辺に大同特殊鋼(株)から支給されたスラグが利用されている。市の公共工事にどのくらい使われたのか。場所の特定と調査はしたのか。

**建設部長** 公共工事では平成7年頃までは旧渋川市では平成7年頃と思われま。調査の結果、市道金井大野線とスカイランドパーク駐車場及びスカイランドパーク北側の林道金井水沢線の一部に使用されています。使用量は不明です。

**質問** 大同特殊鋼(株)敷地内に保管してある産廃スラグ598立方

の処分は。

**建設部長** 駐車場補修工事関連廃棄物処理業務委託ということで、北部土建工業(株)と業務委託契約を結び最終処分場に処分しました。

**質問** 委託した業者は処理資格は持っていないと思うが、何トをどこへ片付けたのか。

**建設部長** 委託業者が長野の中間処理業者と契約して、トラック70台816ト処理しました。

**質問** スカイランドパークの駐車場から大同へは何台運んだのか。

**建設部長** 101台です。

**質問** 運搬処理費用の予算は議会にも諮っていない。金額はいくらか。どう処理するのか。

**建設部長** 緊急性を要したので予備費で対応しました。処理費用は2452万8000円です。

**質問** 六価クロムが入ったのは大同特殊鋼の責任。同社の負担で行うべき。税金投入は許されない。

**市長** 施工当ても瑕疵はなく適法であったため、市の責任で処分することが基本です。



2期目の事業は「ブレ」ずに推進  
南雲 鋭一 議員

**質問** 継続事業の給食調理場、北橋運動場、水道料金と事業統合などは「ブレ」ずに計画どおり推進するか。

**市長** 多くの事業が継続中であり、これらを実現したいと訴えてきた。今後もブレることなく市民との約束を実現できるように、職員の協力を得ながら取り組んでいきます。

**質問** 家庭ごみから資源ごみ回収率を平成23年度16・4%を平成29年度20%と設定しているが、本年度報奨金を20%カットした。市長の補正予算をとつても、との心は生きていると思う。本年度、来年度以降はどのように。

**市民部長** 子どもたちへの環境教育の場としても、資源を大切にという原点に立ち返っていただき、更なるリサイクルへの取り組みにご協力をお願いします。

**質問** 過日執行された市長選を振り返って、投票率の低下の要因、棄権防止の取り組みはどうであったか。半数の批判票をどのように思われるか。



家庭から出た資源ごみ

**総務部長** 現職と新人の選挙だったことが要因として考えられる。広報掲載等、様々な啓発を行った。

**市長** 批判票を謙虚に受け止め、今後も誠心誠意、頑張りたい。

**質問** 選挙公報のゆ着の市政、ばらまき財政を、公私混同の市政を、不適切な人事を正しますとある。これらに対する市長の思いは。

**市長** 相手候補の公約であり、とやかくいうつもりはない。合併時の約束を計画を立て実現してきたもので、ばらまきではない。今後とも公平公正な市政運営を行います。

# 一般質問



市民の生命を守る対策を急げ

伊花 明美 議員

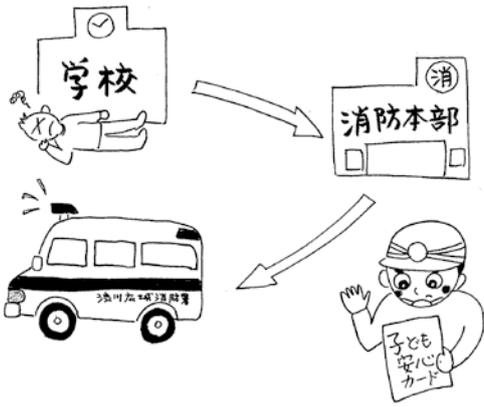
子どもの生命を守る対策を急げ

**質問** 重いアレルギー症状のお子さんの「子ども安心カード（救急医療情報）」を消防本部に事前提供し、救急搬送の時間短縮を。

**学校教育部長** 個人情報保護への配慮を行うとともに、必要な情報提供については学校から行います。

**保健福祉部長** 保護者の同意を要するなどの問題がありますが、今後、検討していきます。

**質問** アナフィラキシーに有効な自己注射薬「エピペン」。全教職員による使用講習の実施状況は。



**学校教育部長** 小学校6校、中学校6校及び学校教育課で、2回のエピペン講習会を実施しました。

**保健福祉部長** 公立保育所・幼稚園の全施設で実施しており、民間でも参加を予定しています。

**質問** 熱中症予防のため、普通教室にエアコンを設置する考えは。

**市長** 地球温暖化に伴う気温上昇を考慮し、各校の教室環境の状況を把握して、エアコン設置について前向きに考えていきます。

市民の生命を災害から守る対策

**質問** 災害時要援護者名簿・個別避難計画、いつまでに整備するか。

**保健福祉部長** 要援護者名簿は整備済ですが、個別避難計画は整備率が低いため、今後、地域の方々の協力を得ながら、できる限り早期の整備完了を図ります。

**質問** 要援護者を防災会議に登用し、意見を反映させるべきでは。

**総務部長** 社会福祉協議会や福祉団体の代表者にも委員をお願いしています。要援護者当事者の登用については、慎重に検討します。



市民相談支援システムを

安力川 信之 議員

ITを活用した自治体連携を。

**質問** 自治体クラウドや共同開発を行い、システムのコストダウンの考えは、防災や職員交流に有用だ。

**企画部長** 自治体クラウドや共同開発にはメリット・デメリットがあり、コストを意識しながら市に適したシステムを導入していきたいと考えています。

**質問** 道路の破損箇所の写真を市民が携帯電話などで市役所へ送信し、対応するシステムの導入の考えは。

**企画部長** 現在は、被害等が発生したら電話等で連絡をいただいているから職員が現場に行つて確認をしています。災害等の被害状況を簡単に市へ情報提供できるシステムがあれば、構築に向けて検討していきたいと思います。

**質問** 公共施設白書を作成して、今後の施設の再配置をすることは。総合支所で、市民サービスを低下させず、徹底的に維持コスト削減の考えは。職員が市民の元に向

くサービスなどで、よりきめの細かい行政サービス。

**企画部長** 施設の現状を把握し、今後のあり方や維持管理等を定めるため、「渋川市公共施設白書・公共施設再編計画」を策定します。

**市長** 総合支所のあり方については、早急に取り組みます。サービスを低下させないで人員を削減するため、職員が市民や自治会の役員の元に向くサービスや、タブレット等を使い、写真を送信することにより本庁で対応できるシステム等について検討します。



赤城総合支所